	事業所名	放課後等デ	イサーヒ	<u> ごス</u> る	あるく・	いち			支	援プロ	]グラム	作成日	2024 年	9	月	9 E	3
法人(事業所)理念		『みんなで まぁるい笑顔。まぁるい言葉。まぁるいチームワーク。』 いろんな人がいるから、一人ではできない、いろんな思いに気づけ、知り、学ぶことが出来る。そして、行動を共にすることで、一人では絶対にできない、喜んでもらうこと、喜びあえる こと、みんなでまぁるい笑顔になることができる。まぁるい言葉やまぁるいチームワークも生まれる。															
支援方針		社会で暮らしにくさを感じることが多い保護者や児童に「笑」を目標にサービスを提供します。楽しく意欲が持てる活動は勿論、支援を受け入れる機会が多い児童は支援を受けた時は感謝 を述べる、誰からの支援を受け入れるなど柔軟な対応が出来るように支援します。															
営業時間			9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり					
											支 援 内 容						
	健康・生活	・安定感をもって生活する。 ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。 ・身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分で行う。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。															
本人支援	運動・感覚	・いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 ・支援員と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。 ・生活の中で様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。 ・描いたり、つくったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり、飾ったりする。															
	認知・行動	・好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。 ・生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心を持つ。 ・身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。 ・日常生活の中で数や文字などに関心を持つ。															
	言語コミュニケーション	・支援員と一緒にごっこ遊びなどをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ・したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。 ・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 ・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。															
	人間関係 社会性	・自分で考え、自分で行動する。 ・いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。 ・よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。 ・友だちと楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。 ・友だちと積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気づく。															
家族支援		日常生活において、本人の意志を尊重しながら、やり取りする場面を増やす。 ・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育てや障害等に関する情報提供 ・家族の子育てに関する相談援助 きょうだいへの相談援助等の支援 保護者同士の交流の機会の提供(保護者会を、年1回以上開催し参加を促します。) レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援等							۲。)		移行支援	・地域社会への参加・包摂(インクルージョン)の推進として、日常的なエーション等の活動の際には、説明の方法や促し方について共有する。地の場所でのルールや活動の仕方を学んだり、他事業所等との交流すること人との関わり方が学べるように、レクリエーションや療育室以外の場所です。 ・進級、進学期には、年齢に応じて段階分けされた同法人の別事業所への路まえて、支援の一貫性を図って行きます。					の公共 周囲の 動しま
地域支援・地域連携		・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での本人との関わり方の提案や ポイントについて助言を行います。									の振り返						
主な行事等		・クッキングレク ・お買い物レク ・制作 ・お誕生会 ・外出レク ・音楽リズム ・運動教室 ・避難訓練 ・春まつりお花見 ・夏まつり縁日 ・秋まつり収穫祭 ・冬まつりクリスマスフェスティバル ・乗り物レク															